

簡易ハウスを利用した菌床シイタケの夏期培養

福島県林業研究センター林産資源部
平成16年度福島県林業研究センター業務報告

- 1 部門名 林業－食用キノコ－栽培方法
分類コード18－16－10000000
- 2 担当者 内山 寛
- 3 要 旨

菌床シイタケ栽培施設整備の進展にともない、菌床栽培施設の効率的運用が求められている。しかし、本県においては菌床シイタケ栽培形態から夏期に菌床生産施設が遊休化しているのが現状である。このような状況を踏まえ、菌床シイタケ生産者に広く普及している簡易ビニールハウスを活用した菌床シイタケの夏期培養について検討した。

簡易ビニールハウスを活用した菌床シイタケの夏期培養においては、①被覆材により空気の流通を妨げないようにする必要がある。②夏期の高温期にシイタケ菌の伸長が停止するため、培養期間を長めにとって発生操作する。③夏期の種菌接種では害菌の侵入を防止するために、熱シーラー等の密閉度の高い方法で封印する。④発生時期により、初回発生以外で発生量のピークを迎える可能性があるため、初回発生以降の浸水発生スケジュールを検討する。以上の4点を踏まえることで、簡易ビニールハウスを活用した夏期接種による菌床シイタケ栽培も可能であると考えられる。

栽培現場への普及に際しては、子実体の発生場所・施設および時期について、地域の実情を踏まえた指導が必要である。

- 4 その他の資料など
なし